

平成 30 年度土木部大河原土木事務所目標・運営方針

大河原土木事務所

1. 事務所の目標

以下の目標のもとに、仙南地域の発展と暮らしの安全・安心を支え、豊かさを実感できる県土づくりを推進する。

- ◇ 震災復興後を見据えた、新たな施設整備と既存施設の維持管理とのバランスの取れた社会資本整備の推進
- ◇ ゲリラ豪雨や蔵王山噴火等、仙南地域の特徴を踏まえた災害に強い社会資本整備の推進

2. 主要事業及び取組

(1) 仙南地域の産業振興や広域防災のための道路ネットワーク整備の推進

- 広域幹線道路ネットワークを形成する交通軸の整備
 - ・ 国道113号・福岡蔵本地区(白石市)道路改良工事の推進
 - ・ 国道286号・支倉バイパス(川崎町)整備事業の推進
 - ・ (主)岩沼蔵王線・大師～姥ヶ懐道路改良事業(岩沼市・村田町・柴田町)の推進
 - ・ (都)小池石生線末広町街路事業(村田町)の推進
 - ・ (主)仙台村田線 菅生スマートIC 整備事業(村田町)
 - ・ 国直轄代行業を見据えた国道349号県境改良区間(丸森町)の地元調整等の実施
- 地域間の交流連携を支援する幹線道路の整備
 - ・ (主)白石丸森線・大張館矢間地区(丸森町)の推進, (主)白石丸森線・大鷹沢大町地区(白石市)、(主)丸森柴田線・坂津田地区(角田市)などの推進

(2) 防災・減災体制の強化

- 地震等の災害に強い道路の整備推進
 - ・ (新)橋梁耐震化計画に基づく、(国)113号・郡山橋(白石市)などの橋梁耐震補強の推進
 - ・ H26年度に改定した橋梁長寿命化計画に基づく、(主)丸森霊山線・丸森橋(丸森町)などの橋梁補修の推進
 - ・ (国)349号・耕野地区(丸森町)などの災害防除の推進
- ゲリラ豪雨による浸水被害や土砂災害を防止する河川・砂防事業の推進
 - ・ 平家川河川改修(白石市・蔵王町)、小田川河川改修(角田市)、雉子尾川河川改修(丸森町)の推進
 - ・ 支障木伐採や堆積土砂撤去による河川の流下断面の確保
 - ・ 南谷沢通常砂防(白石市)、小屋館沢通常砂防(丸森町)や土砂災害警戒区域等指定の推進
- 蔵王山噴火に備えた防災体制の強化
 - ・ 松川火山砂防事業(蔵王町)と火山噴火対策の推進

(3) 仙南地域の住民の日常生活を支える土木建築行政の推進

- 歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備の推進
 - ・ (国)349号・小坂地区(角田市)、(一)角田柴田線 神次郎地区(角田市)などの推進
- 県境を結ぶ幹線道路の除雪体制の強化
 - ・ 国道113号(七ヶ宿町)、国道349号(丸森町)などの県際道路の除雪体制の強化
- 多様な主体との連携による道路・河川の整備と維持管理体制の強化
 - ・ 耕野地域協働事業(道路・丸森町)、大谷地域協働事業(道路, 河川・大河原町)
 - ・ 市町連携による河川堤防除草の推進や道路管理におけるスマイルサポーター制度普及促進
- 住まいに関わる許認可・相談等の円滑な推進
 - ・ 建築確認申請の速やかな事務処理や住宅相談等への丁寧な対応

3. 事務所の重点事項・懸案事項

- 重点事項
 - ・ (主)岩沼蔵王線・大師～姥ヶ懐道路改良事業や支倉BP事業など、広域幹線道路ネットワークを形成する交通軸の整備推進
 - ・ ゲリラ豪雨を踏まえた河川・砂防事業、蔵王山噴火対策、土砂災害警戒区域等の指定などの、防災対策の着実な推進
- 懸案事項
 - ・ 橋梁を主とした老朽化が進むインフラへの早急な対応

4. 事務所の取組姿勢

- 仙南地域の発展と住民の安全・安心を支えるインフラ整備に、誇りと気概を持って取り組む。
- 地域の思いをしっかり受け止め、住民に喜んでもらえるような土木建築行政を推進する。
- 効率的で計画的な仕事のやり方や、風通しの良い信頼感あふれる職場環境を心がけ、事務所一体となって事業を推進する。